

こんな活動です

子供たちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで見守る「しらかベネット」

基盤的な活動

山口県柳井市	● 活動名	● 関係する学校名
	しらかベネット	柳井市立柳井中学校、柳井市立日積小学校、柳井市立柳井小学校、柳井市立柳東小学校、柳井市立柳北小学校、柳井市立伊陸小学校、柳井市立平都東小学校

開始年度	平成 24 年度	学級数	21 学級	児童・生徒数	549 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 8 人	連携団体・企業等	しらかベネット 学校地域応援団 (学校支援ボランティア)
ボランティアの数	登録人数 271 人	属性	地域住民 (元教員、企業経営者、民生児童委員等)		
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 柳井市スクール・コミュニティセンター ☎ 0820-22-0630

● 活動の概要・経緯
柳井中学校区の7小・中学校の子供たちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで支援することを目的とし、平成24年度から取り組んでいる。地域住民とともに熟議を重ね、実践への意識の共有化を行い、各学校の学校運営協議会、市教委、コーディネーターが推進役となり、「地域とつながり、思いやりのある子ども」という、共通のめざす子供像を設定した。また、学校支援ボランティアや地域住民からなる「学校応援団」によって各学校の支援体制を整えると共に、活動の充実を図りつつ、地域づくりにも役立っている。学習支援ボランティアと学校を、しらかベネット推進委員同士の連携によってつなげている。そして、学校と地域のさらなるネットワークの拡大に取り組むことで、子供たちの一層の成長につなげている。中学校では、地元の地域行事に積極的に参加するよう呼びかけ、地域貢献活動を通して、地域と子供とのつながりを密にしている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「クラス熟議 (学級懇談会)」「学年懇談会」、校区内小学校運営協議会も交えた「しらかベネット地域部会」の各段階を通じた熟議を行いながら、「地域とつながり、思いやりのある子ども」という、共通のめざす子供像を設定した。また、学校支援ボランティアや地域住民からなる「学校応援団」によって各学校の支援体制を整えると共に、活動の充実を図りつつ、地域づくりにも役立っている。学習支援ボランティアと学校を、しらかベネット推進委員同士の連携によってつなげている。

各小学校6年生を対象に子ども塾として研修会を開催している。人間関係調整力を育むとともに、柳井中学校に進学する子供たち同士のつながりの場をつくっている。子ども塾の参加経験がある柳井中学校生徒が、「しらかベネットジュニア応援団」として関わることでリーダー養成の場にもなっている。

平成26年度から、柳井中学校区内にある小・中学校の全教職員による合同研修会を実施し、「授業改善」などの部会に分かれ、各校の現状や課題・解決策を共有している。平成27年度からは、学校運営協議会委員も参加して成果や課題を共有している。

毎年11月23日の柳井まつりでは、しらかベネット子ども広場を行い、校区内の全学校が参加している。地域住民や地元の商工会などの協力のもと特産品や農産物の販売、中学校吹奏楽部や美術部による発表など、学校の特色を生かした出し物で盛り上げている。

平成27年度から、柳井中学校で「柳中コミュット」として、地域生徒会を立ち上げ19地区で地域のお祭りへの準備や後片付けへの協力、老人ホームへの慰問などを行っている。また、地域貢献として地域清掃を行っている。この活動には地域住民や小学校児童も参加し、活動を通して地域を美しくするだけでなく、つながりをつくり、地区のよさを発見する場となっている。

【実施にあたっての工夫】

学校運営協議会を中心とした柳井中学校区の7校の相互の連携を重視している。6小学校の学習や活動が中学校で生かされるよう、柳井中学校の学校運営協議会に各小学校の学校運営協議会からも委員が参加している。これにより中学校での協議の内容が、小学校の運営協議会でも生かされる仕組みを作っている。また、学校運営協議会メンバーや学校支援ボランティアメンバーがもっている情報を生かし、地域の自治会などに提供することでネットワークが一層広がっている。教育関係団体や地域の企業などとの連携を図るためにひと・こと・もののネットワークを生かして地域人材を発掘し、ネットワークの拡大を通じて地域の子供たちを育てている。

● 事業を実施しての効果・成果

しらかベネットのめざす子供像の設定、地域部会や小中合同研修会への学校運営協議会委員の参加、学校地域応援団の構築など、7校の学校運営協議会の連帯感が生まれ、それぞれの学校が特色を生かした教育活動を展開できている。また、中学校を中心として、小中連携の必要性を強く感じ、教職員には学校を越えた絆が広がってきているとともに、15年間を見据えた指導の継続化が一層図られている。さらに、柳中コミュットや柳井まつりへの参加を通して、様々な地域の人々との連携ができ、学校による地域貢献とともに地域の教育意識の向上及び地域の活性化にも役立っている。

● その他

柳井まつり「子ども広場」については、企業経営者などによる運営チームがボランティアで参加し、お店の経営の仕方などを教えている。また、民生児童委員、ボーイスカウトなども参加している。放課後子ども教室は、元教員を中心としたボランティアで運営され、放課後や夏休みに音読や計算などの学力向上、学習やおやつ作りなどの体験活動を主体とした教室を設け、子供の貧困問題解消や居場所づくりにも取り組んでいる。



柳井まつり 子ども広場



柳中コミュットによる 地域清掃

ポイント

会議だけでなく、教職員研修や教育活動を共にすることで、連携・協働体制を築いています。地域と学校とが子供の15年間を見据えて、目指す子供像を設定し、学習や体験活動を進めており、素晴らしいですね。